

≪阿南市在宅医療・介護連携支援センター事業≫  
 阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議【報告書】

|      |   |      |               |
|------|---|------|---------------|
| 会議名  | 阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議   |      |               |
| 開催日時 | 令和7年6月18日(水)<br>14:00~15:00   | 開催場所 | 阿南医療センター 2階講堂 |
| 報告者  | 湯浅  |      |               |
| 議題   | ○阿南市保健福祉部地域共生推進課挨拶      ④各種課題に対する議論について<br>○阿南医療センター挨拶                              ⑤その他<br>①新規委員紹介<br>②本会について事務局から説明<br>③意見交換会 |      |               |

| 議題①    | 新規委員紹介   |
|--------|--|
| 検討した項目 | ○阿南市保健福祉部地域共生推進課挨拶【山崎課長】<br>○阿南医療センター挨拶【米津副院長】<br>①新規委員紹介  |
| 検討内容   | ①阿南高齢者お世話センター部会代表の新規委員。<br>②阿南医療センター地域連携室窓口担当。<br>③阿南市在宅医療・介護連携支援センターの窓口担当。  |
| 結論     | ①今年度より阿南高齢者お世話センター部会代表として、主任ケアマネ部会から中部高齢者お世話センター主任介護支援専門員の井田氏、北部第2高齢者お世話センター社会福祉士の部氏が委員となる。<br>②阿南医療センターの窓口担当は地域連携室 羽坂氏。<br>③阿南市在宅医療・介護連携支援センターの窓口担当はセンター長 湯浅。 |
| 残された課題 | なし   |
| 備考     |  |

| 議題②    | 本会について事務局から説明   |
|--------|---|
| 検討した項目 | ①令和7年度 阿南市在宅医療・介護連携促進ワーキンググループ会議の開催意義及び開催内容、開催日時の確認。<br>②阿南市在宅医療・介護連携支援センターの第9期介護保険計画に伴う事業運営の説明。  |
| 検討内容   | ①会議体の意義、委員の役割、開催日時、開催方法。<br>②第9期介護保険計画に伴う、事業運営の説明。  |
| 結論     | ①「切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築」を図るため、様々な会議体での意見等を多職種で議論を行い、解決策を見出す。<br>≪会議開催について≫<br>開催日時:年3回(開催予定日:R7.6.18、R7.9.17、R7.12.17)、各14時~15時、開催場所は阿南医療センター2階講堂。<br>②阿南市在宅医療・介護連携支援センターの組織体制を理解することで委員の役割の共通認識が図れた。 |
| 残された課題 | なし  |
| 備考     |   |

| 議題③    | 意見交換  |
|--------|---|
| 検討した項目 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①ケアカフェについて</li> <li>②腹膜透析受入れモデル施設について</li> <li>③4つの場面について</li> <li>④身寄りの無い方の対応について</li> </ul>  |
| 検討内容   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①開催日・開催内容について</li> <li>②必要性について</li> <li>③令和6年度評価及び令和7年度の取り組みについて</li> <li>④身寄りが無い方の対応について</li> </ul>  |
| 結論     | <ul style="list-style-type: none"> <li>①・開催予定日:年3回(R7.8.20、R7.11.19、R8.2.18)、定員MAX60名。<br/>・研修内容は①ACPの進め方 ②誤嚥性肺炎 ③心不全予防 ④身寄りが無い方の対応についての4項目について開催をする。※今年度は①②④についてを予定<br/>開催への講師・内容は事務局が調整となる。</li> <li>②腹膜透析受入れ施設モデルについて、現在阿南市の受入れ施設がゼロであるため、今後の医療と介護の連携強化の為に検討が必要である。令和7年7月4日(金)19時～介護・医療連携研修会として腹膜透析の受入れへの実施研修も含めた研修会を開催。この研修を受けて受け入れ可能かを施設へ問い、モデルを検討する。しかし、医療行為について特養は看護師が日勤しか配置されていないのが課題であり困難を要する。</li> <li>③市民公開講座<br/>昨年度より出前型に変更して行い、好評であった。今年度以降も出前型で行う。実施は各お世話センターの圏域ごとで行い、その地域が求める講義を実施。希望の講義内容の把握はお世話センターと連携して行う。</li> <li>④身寄りが無い方の対応については、医療及び介護・福祉も対応に困難を有することが多々あるのでケアカフェ等で講義及びグループワークにより課題抽出・解決を行う。</li> </ul> |
| 残された課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>①②④については、ケアカフェで研修会を行い、課題抽出・解決を行う。</li> </ul>   |
| 備考     |   |

| 議題④    | 各種課題に対する議論について  |
|--------|---|
| 検討した項目 | ①透析患者アンケート実施結果について<br>②救急搬送における福祉事業所の対応について   |
| 検討内容   | ①透析患者のアンケート意見に対する現状把握及び今後の課題<br>②救急搬送における医療と介護及び市役所・消防署との連携の再確認   |
| 結論     | ①阿南医療センター透析患者107名の回答。そのうち60歳以上が95名で介護認定を受けている人は15名である。特に送迎が課題であり、31名が介護タクシーを使用すると回答している。介護タクシー、福祉タクシー及びタクシーの減少に伴い、今後の送迎対応をどのようにしていくかを行政・医療機関・福祉事業所で資源開発等の協議を行っていく。第2回ワーキンググループ会議までに各委員の意見及び各サービス種別の意見を集約して議論を行う。<br><br>②救急搬送について以下の内容の再確認を行い、周知徹底とした。<br>・救急搬送で阿南医療センターに搬送された場合、施設職員の配置上、早急に帰らなければならない場合は、家族及び施設職員と連絡できる体制を整えれば帰っても良い。<br><br>・救急搬送時の救急車への同乗について、施設職員の配置に支障が生じる場合は、後追いで病院へ駆けつけることも可としている。阿南市消防へ再度、周知を行い連携強化を行う。<br><br>※上記項目については必ずしも可能ということではなく、状況により対応に変化が生じる。 |
| 残された課題 | ①第2回ワーキンググループ会議で意見集約をして課題解決を行っていく。<br>②救急搬送における、行政・医療機関と福祉施設との情報共有のより効率的な手段について。  |
| 備考     |   |

| 議題⑤    | その他  |
|--------|--|
| 検討した項目 | ①リーフレットについて<br>②研修案内について   |
| 検討内容   | ①阿南市在宅医療・介護連携支援センターのリーフレット改善説明<br>②介護・医療連携研修会案内  |
| 結論     | ①QRコードを2種類(HP・Youtube)掲載することで市民及び医療・介護従事者にも幅広く周知。<br>②課題・要望があれば企画を行う。また、研修案内があれば広報し、医療・介護従事者の資質向上に繋げる。 |
| 残された課題 | なし   |
| 備考     |  |

【会議風景写真】

